

高齢者人口及び 要介護(要支援)認定者数 の推計

佐賀中部広域連合
第4期計画策定
第2回策定委員会資料

■ 計画年度における高齢者人口の推計

今回は、平成19年9月末現在の住民基本台帳人口をもとに、平成15年から平成18年の変化率（簡易生命表）を使用し、前回同様コーホート要因法により推計しています。

これによると、平成19年実績で357,787人である総人口は、平成23年には347,366人と10,521人の減少となっています。一方、65歳以上の高齢者人口（第1号被保険者）は、79,185人から80,684人へと、1,499人の増加となっています。

前期高齢者・後期高齢者でみると、特に後期高齢者の増加が大きくなっています。平成19年の後期高齢者数（40,133人）は第3期での計画値を1,393人上回っているのが現状で、さらに今後平成23年には42,008人と、平成19年と比べて1,875人の増加が見込まれています。

これらの結果、高齢化率は平成19年の22.1%から平成23年には23.2%と、1.1ポイントの上昇が見込まれます。

※¹簡易生命表：簡易生命表とは、厚生労働省が作成する、一定期間におけるある性別・年齢別の死亡秩序を表す各種の関数、すなわち死亡率・生存数・死亡数・定常人口・平均余命等を示したものです。対象期間中に全国で観察された年齢ごとの死亡件数と、その期間の年齢ごとの平均人口又は中央人口とを基として計算されます。

※²コーホート要因法：コーホート要因法とは、年齢別人口の加齢にともなって生じる年々の変化をその要因（死亡、出生、および人口移動）ごとに計算して将来の人口を求める方法です。なお、平成26年までに順次65歳を迎える昭和18～24年生まれの方の数は年によってばらつきが大きいため、各年の推計値を算出するにあたって一部補正を行っています。

● 計画年度における総人口及び高齢者人口等の推計

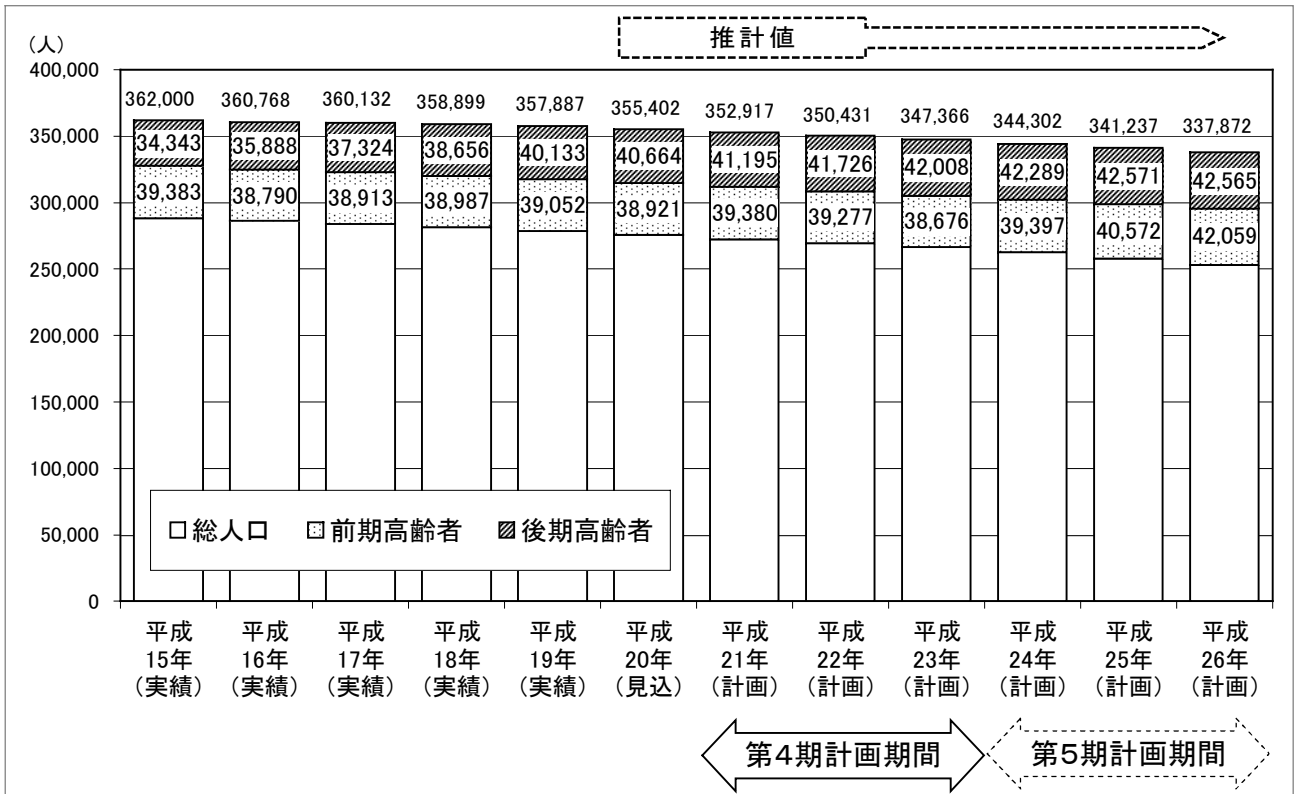
	平成15年 (実績)	平成16年 (実績)	平成17年 (実績)	平成18年		平成19年	
				(計画)	(実績)	(計画)	(実績)
総人口	362,000	360,768	360,132	357,240	358,899	355,475	357,887
高齢者人口	73,726	74,678	76,237	76,851	77,643	77,937	79,185
前期高齢者人口	39,383	38,790	38,913	39,061	38,987	39,197	39,052
後期高齢者人口	34,343	35,888	37,324	37,790	38,656	38,740	40,133
第2号被保険者	118,799	118,951	118,901	117,631	117,793	116,972	117,411
高齢化率	20.4%	20.7%	21.2%	21.5%	21.6%	21.9%	22.1%

		平成20年 (見込)	平成21年 (計画)	平成22年 (計画)	平成23年 (計画)	平成24年 (計画)	平成25年 (計画)	平成26年 (計画)
総人口	前期推計	353,162	350,848	348,535	345,650	342,766	339,882	336,596
	今回推計	355,402	352,917	350,431	347,366	344,302	341,237	337,872
高齢者人口	前期推計	79,509	81,081	82,653	83,358	84,062	84,766	84,701
	今回推計	79,585	80,575	81,004	80,684	81,686	83,142	84,625
前期高齢者人口	前期推計	40,641	42,085	43,529	43,766	44,003	44,240	43,167
	今回推計	38,921	39,380	39,277	38,676	39,397	40,572	42,059
後期高齢者人口	前期推計	38,868	38,996	39,124	39,592	40,059	40,526	41,534
	今回推計	40,664	41,195	41,726	42,008	42,289	42,571	42,565
高齢化率	前期推計	22.5%	23.1%	23.7%	24.1%	24.5%	24.9%	25.2%
	今回推計	22.4%	22.8%	23.1%	23.2%	23.7%	24.4%	25.0%
第2号被保険者	前期推計	116,000	115,028	114,056	113,166	112,275	111,385	110,805
	今回推計	117,284	117,157	117,030	115,599	114,168	112,737	112,047

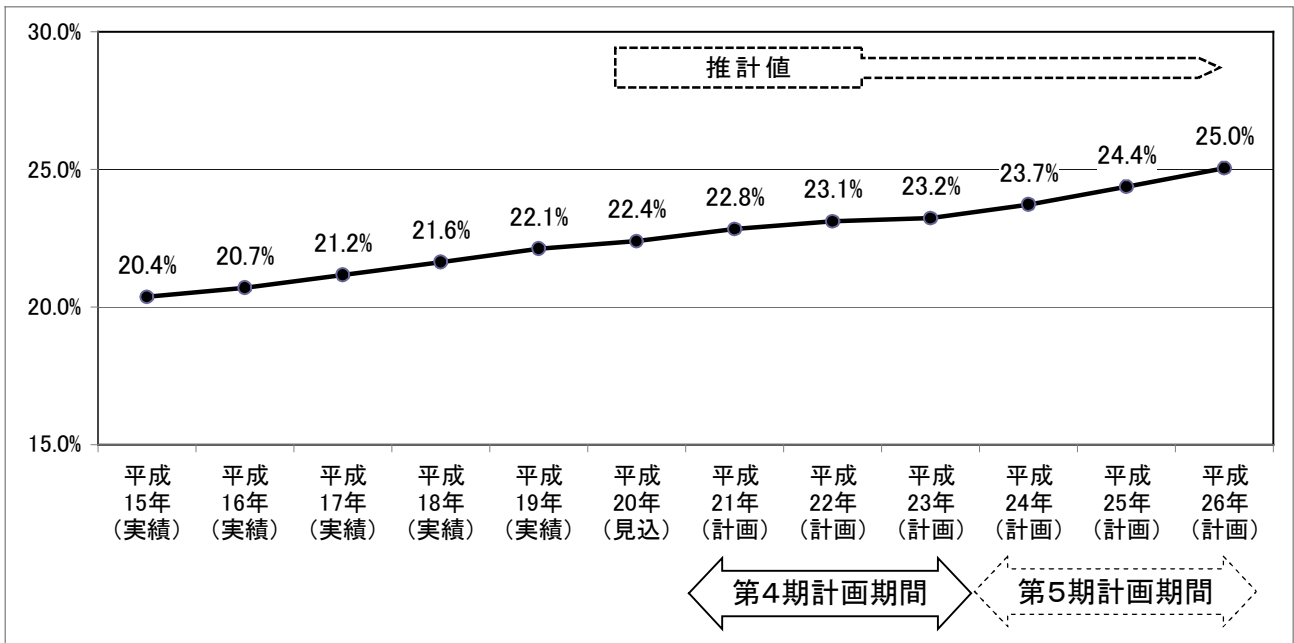
第4期計画期間

第5期計画期間

■ 総人口推計



■ 高齢化率推計



■認定者数の推計について

今回の制度見直しは、平成27年（2015年）の高齢者介護の姿を前提にしており、第5期介護保険計画の最終年度にあたる平成26年度に目標を設定し、そこに至る中間段階として第4期介護保険計画（平成21～平成23年度）を策定する必要があります。

このことから、認定者数の推計については、前述の人口推計をもとに平成26年度まで行っています。

認定者数の将来推計については、男女別・年齢4区分（40～64歳、65～74歳、75～84歳、85歳以上）の人口推計値に対し、各年度の男女別・要介護度別（3段階：要介護1以下、要介護2・3、要介護4・5^{※1}）の出現率を積算することにより算出し、それらを合計して全体値を推計しています。なお、出現率は平成17年～平成19年（各9月値）の実績を平均して推計を行っています。

その結果、平成19年9月実績で13,192人であった認定者数の合計は、平成23年度時点で14,686人、平成26年度時点で合計15,274人と推計されます。

●平成17年度～19年度出現率平均からの認定者数推計

平成21年度：14,182人（合計）

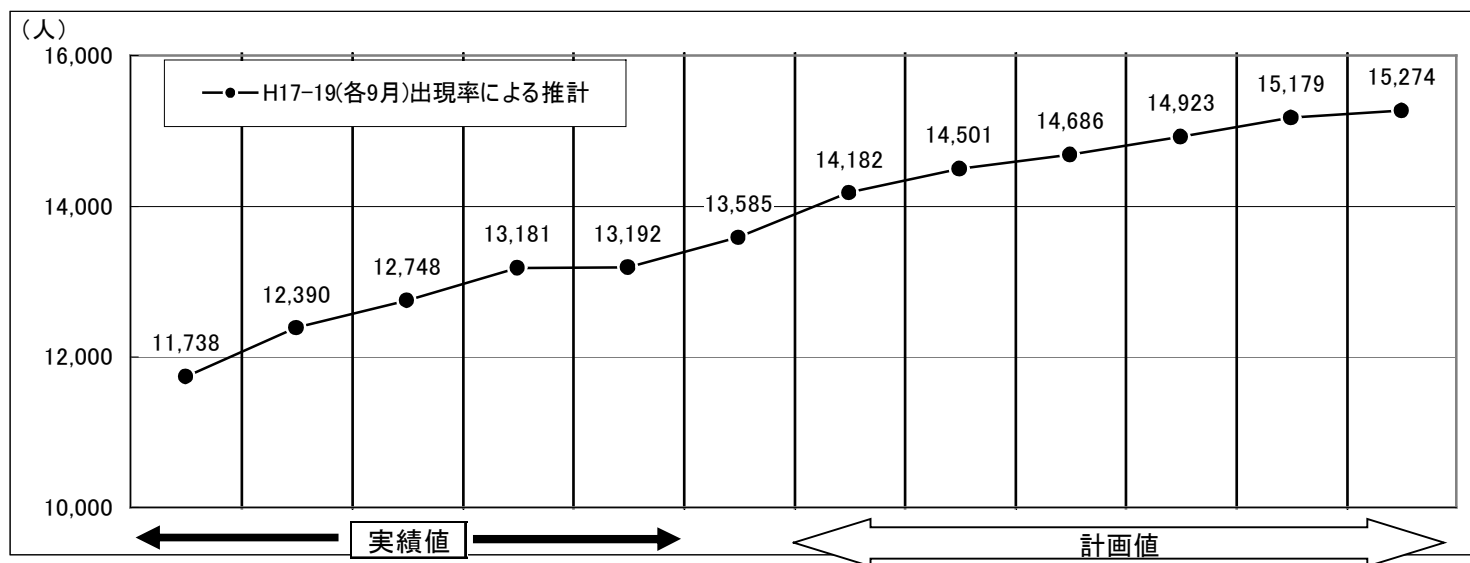
平成22年度：14,501人（合計）

平成23年度：14,686人（合計）

平成26年度：15,274人（合計）

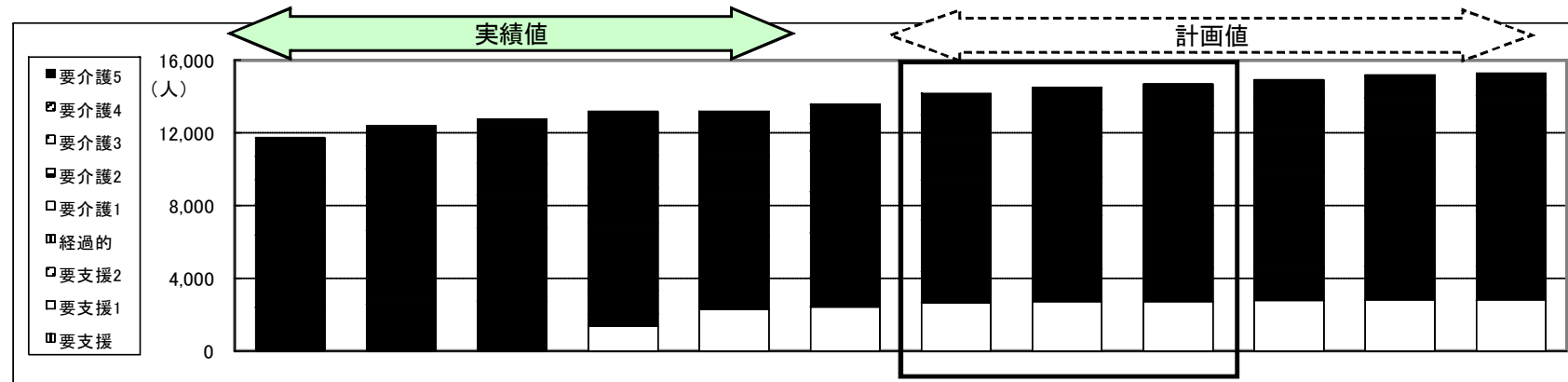
^{※1}介護度を3段階としたのは、介護認定区分が変更になったことと要支援1・2及び要介護1～5の7区分ごとでは認定者数が少ないところがあり、出現率に誤差が生じやすいため、ある程度まとまった出現数から出現率を求め、その後にそれぞれの区分の中での介護度ごとの構成比（H19年度平均）で割り戻して算出しています。

■ 認定者数推計値（全体推移）



	H15.9 (実績)	H16.9 (実績)	H17.9 (実績)	H18.9 (実績)	H19.9 (実績)	H20年度 (見込)	H21年度 (計画)	H22年度 (計画)	H23年度 (計画)	H24年度 (計画)	H25年度 (計画)	H26年度 (計画)
H17-19(各9月)出現率による推計	11,738	12,390	12,748	13,181	13,192	13,585	14,182	14,501	14,686	14,923	15,179	15,274

■要介護度別認定者数推計値



	H15.9 (実績)	H16.9 (実績)	H17.9 (実績)	H18.9 (実績)	H19.9 (実績)	H20年度 (見込)	H21年度 (計画)	H22年度 (計画)	H23年度 (計画)	H24年度 (計画)	H25年度 (計画)	H26年度 (計画)	
認定者数	要支援	2,371	2,597	2,703									
	要支援1				1,352	2,297	2,416	2,646	2,698	2,726	2,765	2,807	2,824
	要支援2				680	1,531	1,607	1,751	1,785	1,804	1,829	1,857	1,868
	経過的要介護				1,289								
	要介護1	4,023	4,070	4,125	3,684	2,487	2,508	2,861	2,917	2,948	2,989	3,035	3,053
	要介護2	1,669	1,747	1,778	1,932	2,227	2,219	2,168	2,221	2,253	2,293	2,335	2,351
	要介護3	1,391	1,622	1,761	1,837	2,159	2,272	2,088	2,139	2,170	2,208	2,249	2,264
	要介護4	1,231	1,294	1,341	1,361	1,418	1,466	1,523	1,564	1,589	1,620	1,652	1,663
	要介護5	1,053	1,060	1,040	1,046	1,073	1,097	1,146	1,177	1,196	1,219	1,243	1,251
合計	11,738	12,390	12,748	13,181	13,192	13,585	14,182	14,501	14,686	14,923	15,179	15,274	

構成比 (%)	要支援	20.2	21.0	21.2									
	要支援1				10.3	17.4	17.8	18.7	18.6	18.6	18.5	18.5	18.5
	要支援2				5.2	11.6	11.8	12.3	12.3	12.3	12.3	12.2	12.2
	経過的要介護				9.8								
	要介護1	34.3	32.8	32.4	27.9	18.9	18.5	20.2	20.1	20.1	20.0	20.0	20.0
	要介護2	14.2	14.1	13.9	14.7	16.9	16.3	15.3	15.3	15.3	15.4	15.4	15.4
	要介護3	11.9	13.1	13.8	13.9	16.4	16.7	14.7	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8
	要介護4	10.5	10.4	10.5	10.3	10.7	10.8	10.7	10.8	10.8	10.9	10.9	10.9
	要介護5	9.0	8.6	8.2	7.9	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.2	8.2	8.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

■介護予防効果の反映及び地域支援事業対象者数の推計

・介護予防事業の効果について

第3期計画における地域支援事業の対象者は、平成18年度は高齢者人口の2%、19年度で4%、20年度で5%と見込んでいました。しかし、判定基準等に課題があり、高齢者人口に占める地域支援事業の実施者数の割合は18年度0.1%、19年度0.8%となっており、目標値よりも低くなっています。なお厚生労働省が今年7月に発表した全国傾向によると、平成19年4月から11月までの地域支援事業参加率はわずか0.3%であったとされています。実績が目標よりも低くなっているのは全国的な傾向でもあります。

国では、現在、全国80余の地域包括支援センターで介護予防ケアマネジメントを実施した特定高齢者及び要支援者についてのその後の心身の状況などに関する情報を収集し、心身の状態や活動状況の変化の分析、及び介護予防の費用に対する効果の分析を行っており、今後公表することになっています。（平成20年2月27日全国課長会議資料P.214）

・介護予防効果の反映および地域支援事業対象者数について

認定者数を推計する際、第3期計画ではまず介護予防事業を想定しない形で推計を行った後、年度ごとに一律的な予防効果（地域支援事業実施により特定高齢者に止まる率・20%、新予防給付実施により要支援・要介護1に止まる率・10%）を反映し、最終的な認定者数推計を行いました。

しかし第4期計画においては、介護予防事業の効果については、予防事業等の実施状況及び今後見込まれる介護予防事業等の効果を勘案していることから、ここでは現状の認定者実績を予防効果が反映されたものとして、そこから導き出される将来推計値を介護予防後の認定者数推計としています。

なお、第4期計画における地域支援事業対象者は、国の分析結果等を基に効果などの検証を行うとともに、平成20年度より開始された特定健康診査及び特定保健指導事業との連携によって、事業の効果をより上げるよう努力していきます。

■地域支援事業対象者数の推計

区分	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度 見込み	平成21年度 計画	平成22年度 計画	平成23年度 計画	平成24年度 計画	平成25年度 計画	平成26年度 計画
高齢者人口 (第1号被保険者数)	74,678	76,237	77,643	79,185	79,585	80,575	81,004	80,684	81,686	83,142	84,625
地域支援事業対象率			0.5%	3.6%	6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%	10.0%	10.0%
地域支援事業対象者数			422	2,882	4,775	5,640	6,480	7,262	8,169	8,314	8,462
地域支援事業実施者数 【地域支援事業実施者／高齢者人口】			107 【0.1%】	659 【0.8%】	1,035 【1.3%】	1,612 【2.0%】	2,430 【3.0%】	3,227 【4.0%】	4,084 【5.0%】	4,157 【5.0%】	4,231 【5.0%】
要支援・要介護1の認定者数 (現状の介護予防効果を勘案)	6,667	6,828	7,005	6,315	6,531	7,258	7,401	7,478	7,584	7,700	7,744
要介護2～5の認定者数 (現状の介護予防効果を勘案)	5,723	5,920	6,176	6,877	7,054	6,924	7,101	7,208	7,340	7,479	7,530